

神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会
第32回総会后研修会

神奈川県看護部長会における 「かながわ地域看護師」アンケート集計結果

神奈川県健康医療局保健医療部医療課

課長代理 藤内 陽子

アンケート調査の概要

○ 調査方法

(1) 調査目的

「かながわ地域看護師」の取組みにおける
ニーズや課題を把握すること

(2) 調査対象

神奈川県看護部長会各地区役員会出席者

(3) 対象期間

令和4(2022)年12月1日～令和5(2023)年5月19日

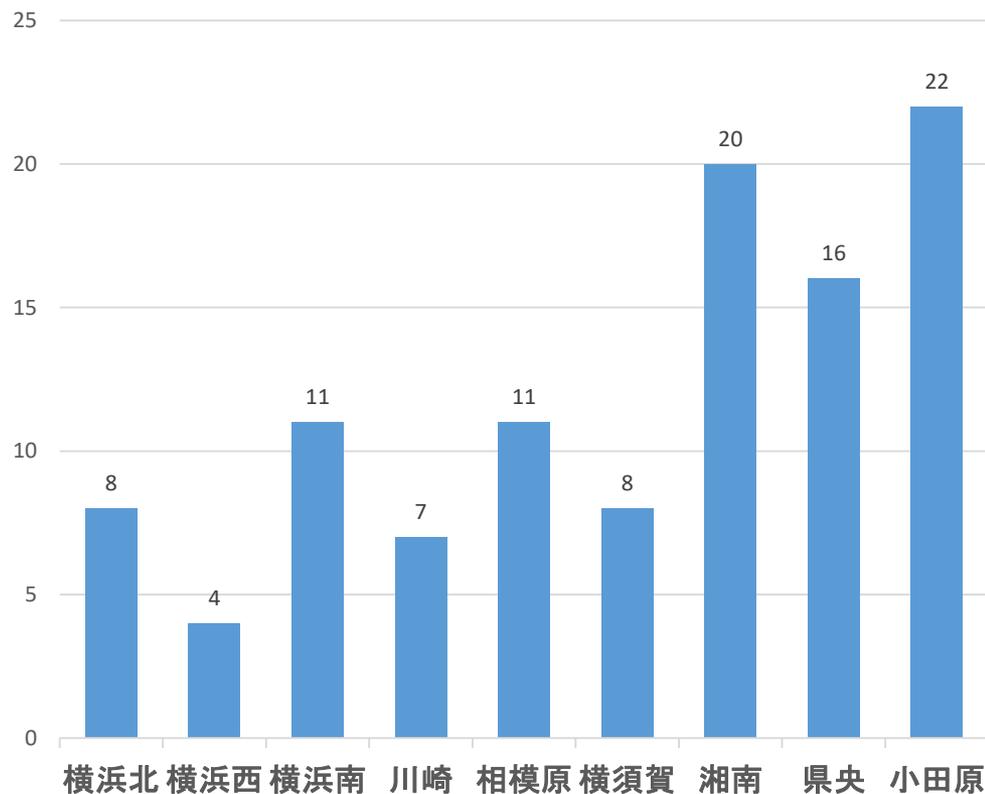
(4) 回答数

107名

アンケート調査の概要

○ 回答状況

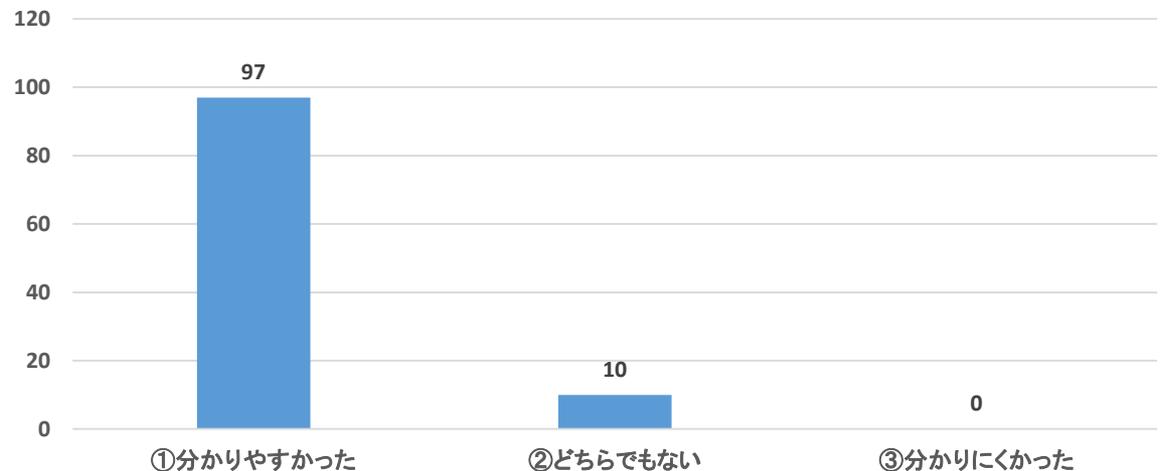
地区名	回答数 (人)
横浜北	8
横浜西	4
横浜南	11
川崎	7
相模原	11
横須賀	8
湘南	20
県央	16
小田原	22
合計	107



Q1 本日の「かながわ地域看護師」に関する説明はわかりやすかったですか

項目	回答数
①わかりやすかった	97
②どちらでもない	10
③わかりにくかった	0

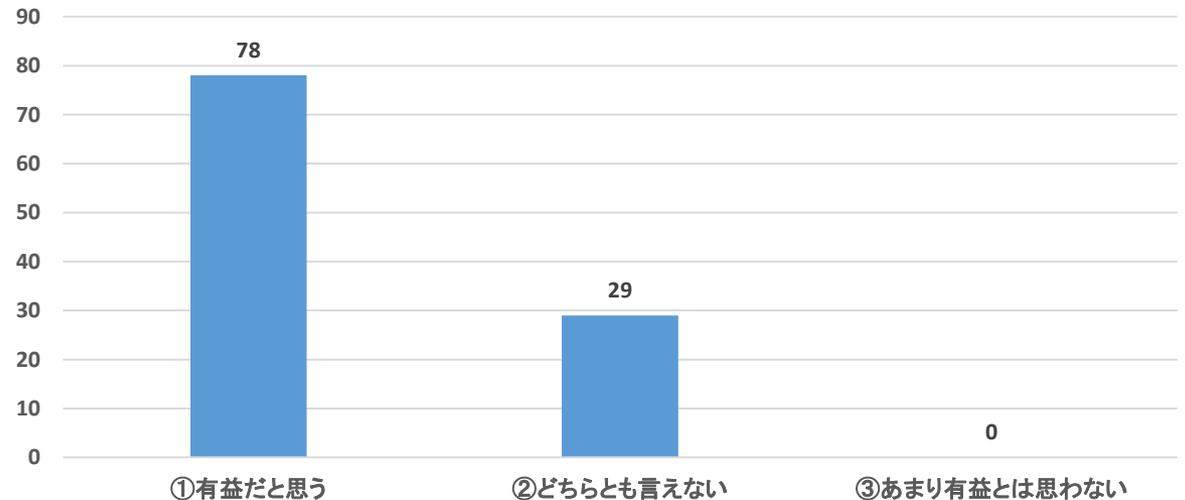
Q1 本日の「かながわ地域看護師」に関する説明はわかりやすかったですか



Q2 「かながわ地域看護師」のような取組みは有益だと思いますか。

項目	回答数
①有益だと思う	78
②どちらとも言えない	29
③あまり有益とは思わない	0

Q2 「かながわ地域看護師」のような取組みは有益だと思いますか

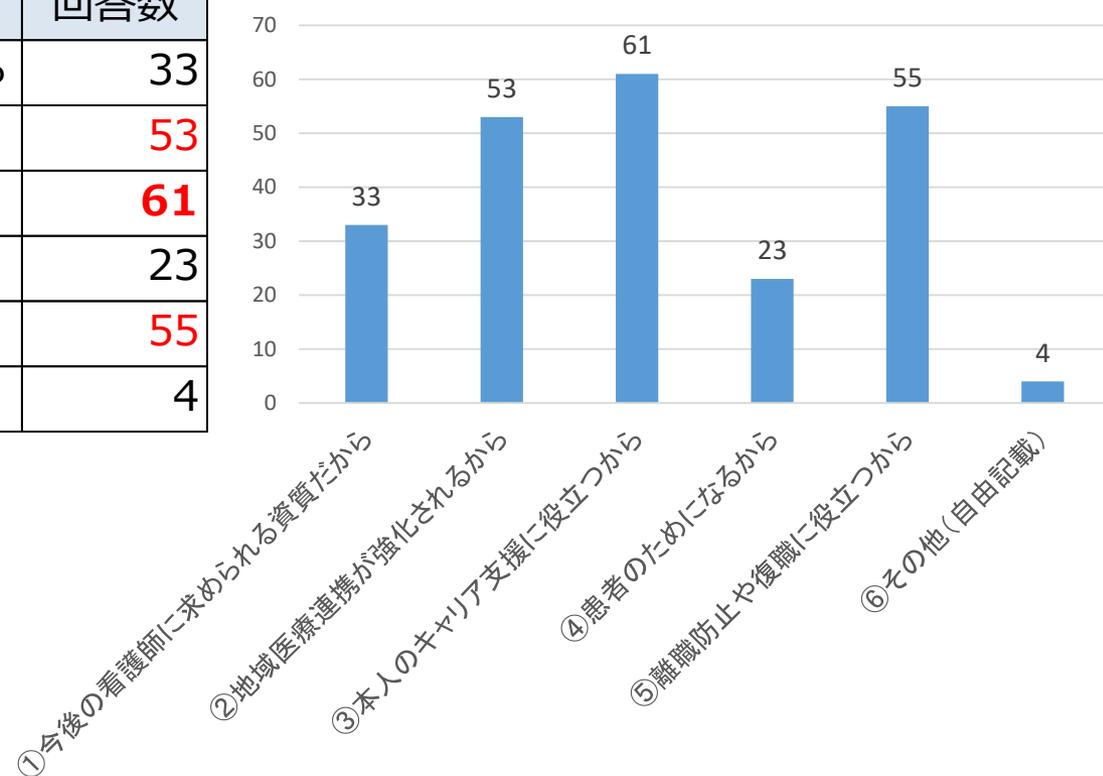


アンケート調査結果

Q3 Q2で「有益」と回答された方について、どのような理由で有益だと思われましたか。

Q3 Q2で①と回答された方:どのような理由で有益だと思われましたか

項目	回答数
①今後の看護師に求められる資質だから	33
②地域医療連携が強化されるから	53
③本人のキャリア支援に役立つから	61
④患者のためになるから	23
⑤離職防止や復職に役立つから	55
⑥その他(自由記載)	4



Q3 Q2で「有益」と回答された方について、どのような理由で有益だと思われましたか。

その他：自由記載

看護師が、自己に向き合う機会となって、適切な役割とやりがいを見付けることに繋がる
と考えるため

小規模病院においては、ほぼ紹介患者なので、転入元の急性期の様子がわかる事は、看護
師にとっても患者にとっても、よい事と考えるため

看護師の不足時期や不足部署が一時的に解消されるため

他施設との交換留学を行うことで、いろいろと学ぶことができるため
また、自施設の状況を知ってもらうことができるため

アンケート調査結果

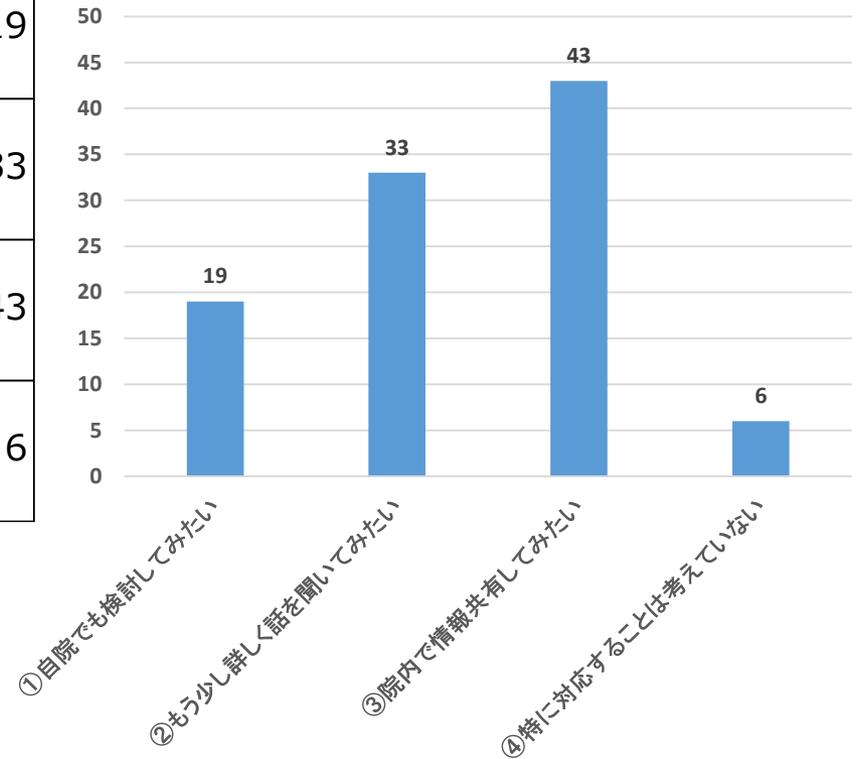
Q4 Q2で「どちらでもない」又は「有益とは思わない」と回答された方について、どのような点が不明確又は有益でないと思われましたか(自由記載)

主な回答
具体的な内容がまだ明確でないこと
人員選定の分かりやすい基準がないこと
労働条件、賃金等について分かりやすい基準がないこと
アウトカムが明確になっていないこと
交流の為のシステムがまだできていないこと
人員不足であり、職員を出向させることが難しい

Q5 本日の説明を聞いて、何か対応しようと思われましたか。

項目	回答数
①自院でも検討してみたい	19
②もう少し詳しく話を聞いてみたい	33
③院内で情報共有してみたい	43
④特に対応することは考えていない	6

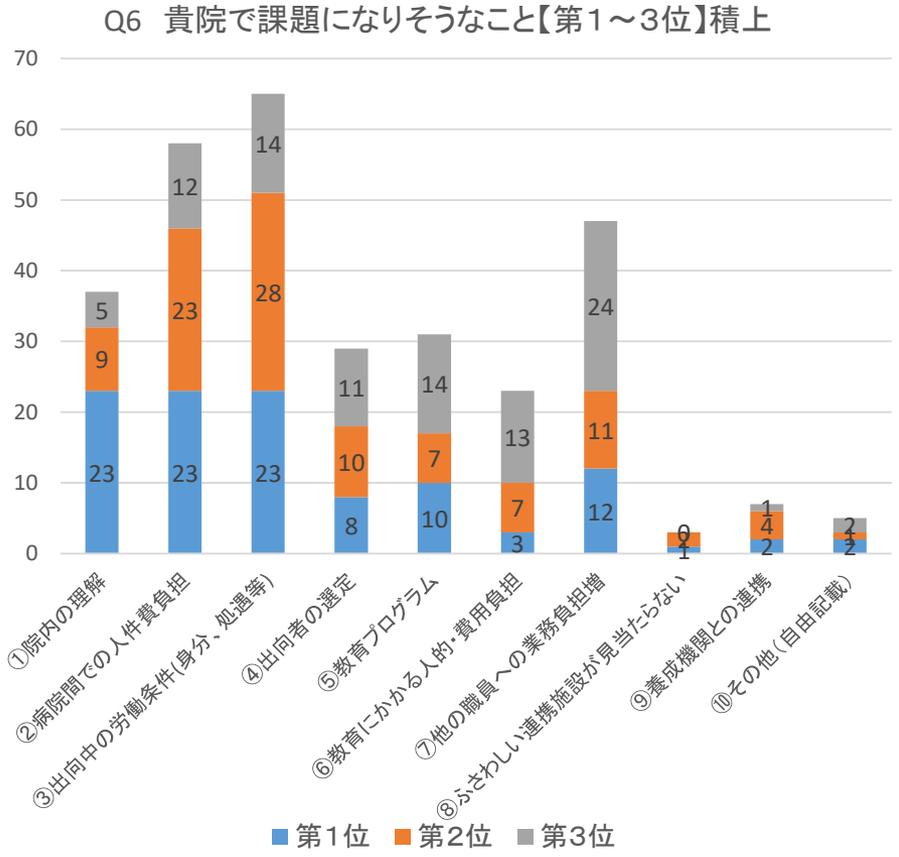
Q5 本日の説明を聞いて、何か対応しようと思われましたか



アンケート調査結果

Q6 もし、貴院が「かながわ地域看護師」のような取組みを検討することとなった場合、貴院で課題になりそうなこと上位3つ選んでください。

項目	第1位	第2位	第3位	合計
①院内の理解	23	9	5	37
②病院間での人件費負担	23	23	12	58
③出向中の労働条件(身分、処遇等)	23	28	14	65
④出向者の選定	8	10	11	29
⑤教育プログラム	10	7	14	31
⑥教育にかかる人的・費用負担	3	7	13	23
⑦他の職員への業務負担増	12	11	24	47
⑧ふさわしい連携施設が見当たらない	1	2	0	3
⑨養成機関との連携	2	4	1	7
⑩その他(自由記載)	2	1	2	5



アンケート調査結果

Q6 もし、貴院が「かながわ地域看護師」のような取り組みを検討することとなった場合、貴院で課題になりそうなこと上位3つ選んでください。

その他：自由記載

教育受入れ体制の構築

目的の明確化、出向の期間

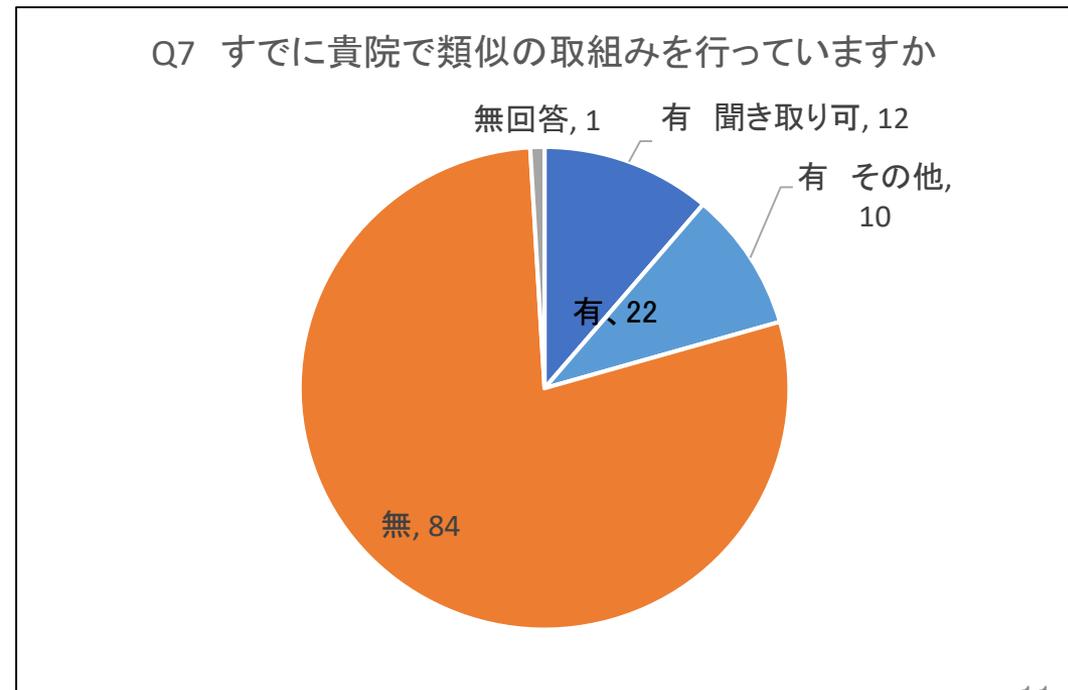
グループ法人や設置母体の理解や意向

当事者の動機づけ

利益を得ることができるか

Q7 すでに貴院で類似の取組みを行っていますか。

項目	回答数
有	22
(内、詳細の聞き取り 可)	12
無	84
無回答	1



アンケート調査結果

Q8 「かながわ地域看護師」の取組みについて、今後期待すること、ご意見・ご感想等がありましたら、ぜひ聞かせてください。

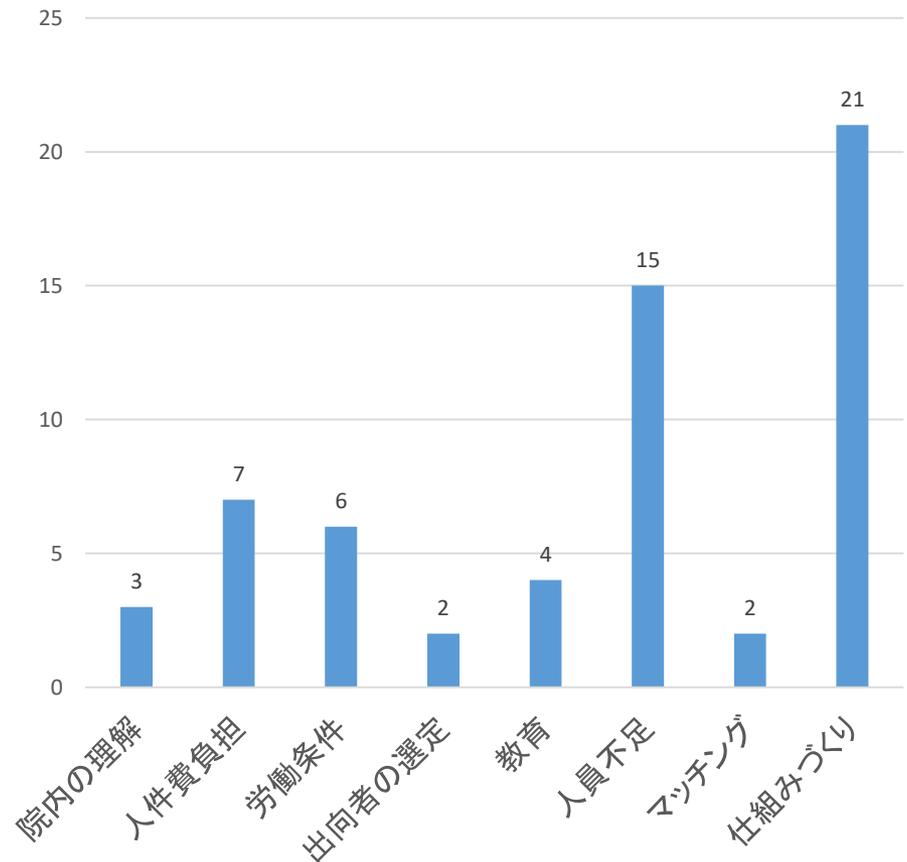
主な回答
県全体の離職率の低下、県外への流出防止に繋がる
情報収集を充分に行い、課題の整理をしていくことが必要
制度設計及びそのPRを積極的にしてほしい
県からの待遇の差等に対する財政的な支援がほしい
マッチングに対する支援があるとよい
給与及び処遇等がガイドラインにより分かりやすくなるとよい

アンケート調査結果

自由記載回答の分類

Q4、Q6及びQ8の自由記載回答のうち、取り組むにあたっての課題を抽出し分類したもの

取組の課題と考えること	回答数
院内（法人）の理解	3
病院間での人件費負担（給与の差）	7
出向中の労働条件(身分、処遇等)	6
出向者の選定	2
教育プログラム・教育に係る負担	4
他の職員への業務負担増 (人員不足)	15
ふさわしい連携施設が見当たらない (マッチング)	2
具体的な仕組みづくり、制度化 (財政支援含む)	21



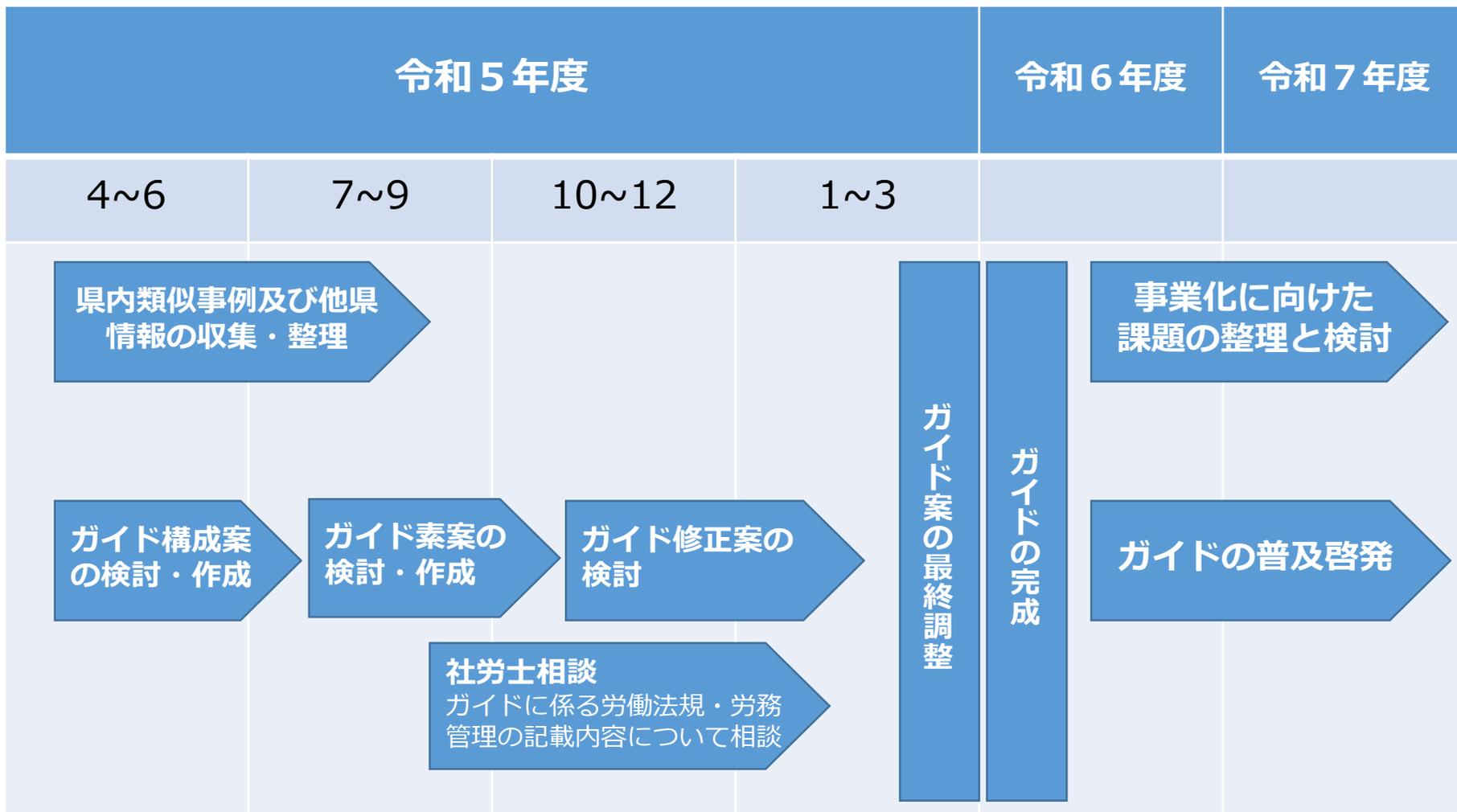
○ アンケート調査結果のまとめ

- 7割以上の回答者が取組みを有益だと考えている。
- 半数以上の回答者が出向中の労働条件や病院間での人件費負担について、課題だと考えている。
- 自由記載回答からは、具体的な仕組みづくりや財政支援を含む制度化が求められている。

アンケート調査結果を基にした今後の方針

- より多くの施設にかながわ地域看護師の取組みを普及するとともに、課題を解決するために、具体的な仕組みや制度、取組みの具体例等を記載した「かながわ地域看護師養成ガイド」の策定が必要。
- 令和5年度は、県内類似事例及び他県の情報収集・整理、社労士への相談を行い、「かながわ地域看護師養成ガイド」の策定を目指す。

かながわ地域看護師養成ガイド策定スケジュール



説明は以上になります。
ご清聴ありがとうございました。